

箱根ガラスの森美術館特別企画

「～華麗なるヴェネチアン・グラス～祝宴の器展」

- 【タイトル】 「～華麗なるヴェネチアン・グラス～祝宴の器展」
- 【会 期】 2014年4月19日（土）～11月24日（月祝）  
午前9時～午後5時30分まで（入館は閉館の30分前まで・会期中無休）
- 【主 催】 ヴェネチア市立美術館総局、箱根ガラスの森美術館、毎日新聞社
- 【後 援】 イタリア大使館、イタリア大使館 観光促進部、イタリア文化会館、  
箱根町、UKAI 創立 50 周年実行委員会
- 【協 力】 ムラーノ・ガラス美術館、モチェニーゴ宮殿美術館、コッレール美術館、  
レッツォーニコ宮殿、ゴルドーニの館、小田急グループ  
特別出品 大平 洋一(ガラス工芸家)
- 【入 館 料】 (税込) 一般1,500円 高大生1,100円 小中生600円

貿易の都として栄えた水の都ヴェネチア。ヴェネチアの貴族たちは、祝宴を行う際に室内装飾から饗される料理や器に至るまで細やかな配慮を施し、最高の演出で人々をもてなしました。なかでも、ヴェネチアのガラス職人たちが卓越した技術で作り出す色彩豊かなガラス器は、宴の席で美酒や美食に華を添え、ヴェネチアのみならず欧州各国においても高い評価を受けていました。

本展覧会は、往時の王侯貴族たちが豪華絢爛な雰囲気の中で繰り広げた祝宴の様子を、「貴族の祝宴」、「教会の愛餐」のテーマにそって構成し、華麗なヴェネチアン・グラス約100点をご紹介します。

また、ヴェネチアの工房に入り、以後37年間に渡り制作を続け、世界で高い評価を獲得した大平 洋一氏が生み出す、ヴェネチアの伝統と氏の感性が融合した現代の祝宴のヴェネチアン・グラスも特別展示いたします。

世界中の人々が憧れた華麗なるヴェネチアン・グラスの祝宴の器たちの世界をご高覧下さい。

\*会期中一部展示替えあり。2014年6月14日(土)よりヴェネチア市立美術館総局所蔵の重要文化美術品も加わり、さらに豪華絢爛な祝宴の様子をご覧頂けます。

<お問い合わせ>

箱根ガラスの森美術館

広報担当 日吉・坂元・根本

TEL : 0460-86-3111 fax : 0460-86-3116 E-mail : [museo@ciao3.com](mailto:museo@ciao3.com)

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原940-48

第1章【貴族の祝宴】ヴェネチアで作り出される装飾性豊かなガラス器はヨーロッパでは、貴族の求めるところなり、貴族の祝宴には欠かせない演出となった。祝宴を彩る15世紀末から20世紀にかけてつくられたガラス器を紹介。



「グッゲンハイム杯」  
サルヴィアーティ工房  
ジュゼッペ・バロヴィエール制作  
1875年



「メディチ家紋章文コンポート」  
16世紀初



「ドルフィン装飾  
ワイングラス」  
20世紀

第2章【教会の愛餐】宗教的な祭礼や婚礼などの儀式と本質的につながりが強いアンボリーナや聖餐杯など、まつりごとにまつわるガラス器を紹介



「聖骨容器形聖餐杯」  
18世紀



「オパールセント・グラス水差」  
19世紀

第3章【大平 洋一の祝宴のモダン・ヴェネチアン・グラス杯】

ヴェネチアの工房で制作活動を行ってきたガラス工芸家、大平 洋一氏が伝統を基にしながら制作した、これからの祝宴のスタイルを予感させる作品を紹介。



「ジュエル・ワイングラス」  
デザイン：大平 洋一 制作：ジュリアーノ・リオータ 1989年